

第3回 水資源に関するシンポジウム『論文募集』のお知らせ

近年わが国では、経済社会の高度化に対応して安定した水供給が求められております。その一方で、うまい水、豊かな水環境への関心の高まり、水を媒体としたイベントの活発化等、新しい動きがみられるなど、水資源のもつ多様な価値が再認識されつつあります。

このときにあたり、水資源の利用、開発、保全に関するさまざまな問題について、学会、行政それぞれの立場から、最新の研究成果を持ち寄り幅広い検討を行うことにより、今後の水資源に関する学術研究の進歩と新しい時代に向けて的確な水行政の展開に資するとともに、水資源問題に対する理解と認識を一層深めることを目的とした標記シンポジウムを下記により開催することになりました。

つきましては、学会会員諸氏におかれましても、このシンポジウムに多数参加されることを希望すると同時に下記要領により発表論文の応募をおすすめします。

記

会 期：昭和62年8月4日(火)～5日(水)の2日間

会 場：未定(東京都内)

主 催：空気調和・衛生工学会、土木学会、農業土木学会、日本気象学会、日本地下水学会、日本林学会、水の週間実行委員会

後 援：厚生省、農林水産省、林野庁、通商産業省、資源エネルギー庁、気象庁、建設省、科学技術庁、環境庁、国土庁、水資源開発公団、地域振興整備公団、住宅都市整備公団、日本下水道事業団(依頼中)

協 賛：(未定)

募集論文のテーマおよび内容：

「論文のテーマ」

- (1) 水資源の有効利用
- (2) 水資源の開発と安定供給
- (3) 水資源の保全と環境

論文の内容：本シンポジウムの主旨に沿い、わが国の水資源開発および有効利用を促進させる立場より、下記のような内容について事例等にもとづき、科学的に論じた論文のほか、行政面からの報告等を歓迎します。ただし、個々の専門領域の詳細技術(例えば、水文諸量の計測・解析手法、水質分析手法など)

を論じたものは御遠慮願います。

- (1) 水資源の有効利用：水資源の有効利用の実態、方法および効果を論じたもので、次の各項のいずれかに重点をおいたもの。
 - a. 水需要の構造分析
 - b. 水の有効利用(既存水利の合理的利用、水の再生利用、その他)
 - c. 水エネルギーの有効利用
 - d. 克雪、利雪
 - e. 今後の課題
- (2) 水資源の開発と安定供給：水資源の開発と安定供給の実態、方法および効果を論じたもので、次の各項のいずれかに重点をおいたもの。
 - a. 水資源計画(供給安定度、異常気象、ライフライン、危機管理、その他)
 - b. 水管理と制御(水量、水質の制御)
 - c. 渇水対策
 - d. 地下水の保全と利用
 - e. 水源地域対策(基金、交流、その他)
 - f. 今後の課題(水制度、その他)
- (3) 水の保全と環境：水の保全のための利用、または環境の改善の実態、方法、および効果を論じたもので、次の各項のいずれかに重点をおいたもの。
 - a. 河川の環境の保全と流況(各種用水と環境の関係、水質浄化用水、その他)
 - b. 流域の管理と水資源の保全(水源涵養林、流域開発と水資源、その他)
 - c. 水環境の整備(水景観の創造、その他)

応募方法：論文応募にあたっては、A4版の適当な用紙に「論文題目」、「内容の分類[1. a)～c), 2. a)～f), 3. a)～c)]の別」、「著者名(連名の場合は発表者に○印)」、「所属学会名」、「勤務先・連絡先住所」を明記の上、400字～800字の内容概要を付けて、1987年3月6日(金)までに下記宛お申し込み下さい。

送付先：〒160 東京都新宿区四谷一丁目無番地
社団法人 土木学会内

(第3回)水資源に関するシンポジウム委員会宛